

地域バイオマス利活用交付金(ソフト事業)

東北農政局				事業実施 主体名	事業内容	評価	目標	達成	個別成果指標	達成	総合評価		備考	
都道府県	市町村名	地区名	市町村								都道府県	農政局等		
【バイオマスタウン構想を策定するために必要な事業への支援】														
岩手県	軽米町	軽米町	軽米町	1. バイオマスの利活用の推進 (1)バイオマスタウン構想の策定支援 ・協議会の開催(3回) ・地域の意向・ニーズ調査、バイオマスの貯蔵量の調査、利用状況調査 ・バイオマスの収集、輸送、変換システムの利用検討 ・バイオマス利活用基本方針策定 ・構想策定検討委員会サポート	H20	バイオマスタウン構想へのステップアップ 年度：平成19年度	○	・バイオマス関連事業者ヒヤリング調査 10件 ・ワーキンググループ会議 6回	○	バイオマス関係団体等の連絡調整を行うとともに、関係機関の指導等により本町バイオマスタウン構想を策定することができた。 今後は、本構想に基づく具体的な実施について、バイオマス利活用推進会議により検討審議を行う。	該当なし		ワーキンググループ会議の開催等、全ての個別成果指標が達成された結果、バイオマスタウン構想が策定・公表され、目標は達成された。	
秋田県	東成瀬村	東成瀬村	東成瀬村	1. バイオマスの利活用の推進 (1)バイオマスタウン構想の策定支援 ・策定委員会の開催(2回) ・貯蔵量調査 ・利用状況調査 ・利活用方法の検討 ・推進体制・工程の検討 ・目標及び成果の検討	H20	バイオマスタウン構想へのステップアップ 年度：平成19年度	○	・住民・事業者からなる協議会を開催し、本村の地域特性に見合ったバイオマスタウン構想の策定のため、協議会意見の計画への反映を行う。 ・次年度以降の取り組みの継続のため、協議会組織の確立、次年度の活動内容の決定を行う。	○	実施計画書提出から事業完了までの期間が約3ヶ月間と短いものであったが、策定委員会を3回開催し検討することができ、個別成果指標及び目標について達成できた。	該当なし		バイオマスタウン構想の策定委員会を3回開催した等により、バイオマスタウン構想が策定・公表され、目標は達成された。	
山形県	飯豊町	飯豊町	飯豊町	1. バイオマスの利活用の推進 (1)バイオマスタウン構想の策定支援 ・バイオマス貯蔵量の把握 ・協議会の運営 ・住民啓発のためのパンフレット作成 ・ハード事業導入のための事業計画検討	H20	バイオマスタウン構想へのステップアップ 年度：平成19年度	○	・計画書の普及啓発にパンフレットを全戸に配布(2435戸全戸)	○	達成したと判断する。	該当なし		パンフレットを町民全戸に配布普及啓発を行うという個別成果指標が達成された結果、バイオマスタウン構想が策定・公表され、目標は達成された。	
【バイオマスタウン構想に沿ったバイオマス利活用システムを実現させるために必要な事業への支援】														
青森県	藤崎町	常磐地区	常盤村農業協同組合	1. バイオマスの利活用の推進 (2)バイオマスタウン構想実現のための総合的な利活用システムの構築支援 ・バイオマス由来の生分解性農業用マルチフィルムによる実証栽培	H20	バイオマスタウン構想の実現・実践状況	○	・バイオマス由来の生分解性マルチフィルムの利用面積を 0㎡→2ha とする。	○	バイオマスの有効活用による資源循環・環境保全型農業を推進することにより、町のイメージアップにつながる始めている。 また、有機質肥料の活用により、地域特性を活かした有機農業の積極的に推進され、産地間の競争力を持つ付加価値の高い農産物の生産がされ、「高品質農産物とバイオマスのまち」としての認識が高まりを見始めている。	該当なし		個別成果指標に係る事業メニューは滞りなく実施され、目標は達成された。 今後は、生分解性マルチフィルムの利用面積の拡大等、バイオマスの利活用が一層進展することが期待される。	
岩手県	紫波町	紫波町	紫波町	1. バイオマスの利活用の推進 (2)バイオマスタウン構想実現のための総合的な利活用システムの構築支援 ・フォーラムの開催 ①地球環境問題に関する講演 ②町の取組を分野ごとに紹介し、検証するパネルディスカッション ③自然の豊かさや恵みを実感する体験型環境学習	H20	バイオマスタウン構想の実現・実践状況	○	・バイオマスに代表される各種環境・循環に関する事業やその必要性をPRした人数 参加者 300人	○	バイオマスの利活用を推進するためには、町民や企業の理解向上が欠かせない。フォーラムにおいて、バイオマスの利活用を中心とする循環型まちづくりに関して、町及び町民団体、企業の取組みを、町民はもとより町外にも発信した。個別成果指標についても達成できた。 今後、バイオマスタウン構想に明記された目標である「廃棄物系バイオマスの利用率97.0%、未利用系バイオマスの利用率51.7%」を目標年度である平成22年度までに達成できるよう、町民や企業のさらなる意識向上を図り、利用率の向上を図ることとしている。	該当なし		フォーラム等の開催により、住民等の環境に対する意識向上を図っており、事業メニューは滞りなく実施され、目標は達成された。 今後も、このような取組の推進により町民や企業の更なる意識向上を図り、バイオマス利活用の一層の推進が期待される。	
秋田県	小坂町	小坂地区	小坂町	1. バイオマスの利活用の推進 (2)バイオマスタウン構想実現のための総合的な利活用システムの構築支援 ・菜種を搾油する設備の導入	H20	バイオマスタウン構想の実現・実践状況	○	・菜の花の作付け拡大による遊休農地の有効活用(作付目標面積：前年度作付けの28ha以上) ・収穫作業及び搾油作業に伴う従事者の収入機会の創出(収穫作業受託組織育成目標：1団体以上) (搾油技術者育成目標：2名以上) ・環境保全意識の高揚 による廃食油回収率の向上(回収率目標：現状の20.2%以上)	×	小坂町バイオマスタウン構想では菜の花による資源循環システムの本格稼働は平成20年度からとなっている。これまでの概ね計画どおりに進捗しており、今後は発展して行く事を期待している。	該当なし		個別成果指標の1項目で未達成があった。このため、改善計画を作成し達成に向けた取組を行うよう指導する。それ以外については、概ね順調に推移しており目標は達成された。 今後は、菜の花の作付け面積の拡大、収穫、搾油、BDF変換等の資源循環システムの確立・発展が期待される。	改善計画により改善中
秋田県	横手市	横手市	横手市	1. バイオマスの利活用の推進 (2)バイオマスタウン構想実現のための総合的な利活用システムの構築支援 ・協議会等の開催(2回) ・先進地視察研修(1回) ・利活用講演会(1回)	H20	バイオマスタウン構想の実現・実践状況	○	・各種団体代表者等約250名	○	本事業で設定した目標である「バイオマスタウン構想の実現・実践状況」はバイオマスタウン構想推進協議会や利活用講演会を開催し達成している。 また、個別成果指標も全て達成しており、本事業の目的は全て達成できたといえる。 今後は、横手市バイオマスタウン構想に明記された廃棄物系バイオマス90%、未利用バイオマス73%以上の達成目標に向け関係機関・団体等と緊密な連携を図り、その推進に向け取り組んでいく。	該当なし		バイオマスフォーラム等の開催により、関係機関や住民等の意見交換を行うなど、個別成果指標に係る事業メニューは滞りなく実施され、目標は達成された。 今後も、関係機関・団体等と緊密な連携を図り、メタン発酵等のバイオマス利活用の一層の推進が期待される。	